

学 部

(科目等履修生)

令和 9 年度 (2027年度)

沖縄県立芸術大学 音楽学部

科目等履修生出願要項

音 楽 学 部

令和9年度(2027年度) 沖縄県立芸術大学音楽学部 科目等履修生出願要項

沖縄県立芸術大学学則第62条の規定により、本学において、科目等履修生として一又は複数の授業科目の履修を希望する者は、次により出願すること。

第62条 学長は、本学の学生以外の者で、本学において一又は複数の授業科目を履修することを願い出る者が
ある場合は、教育研究に支障がないときに限り、当該学部の教授会の議を経て、科目等履修生として入学を
許可することができる。

(前期：令和9年4月入学)

(後期：令和9年10月入学)

1 履修期間

1 学期 (前期) 令和9年4月1日～令和9年9月30日

(後期) 令和9年10月1日～令和10年3月31日

1 学年 令和9年4月1日～令和10年3月31日

2 出願資格

- (1) 高等学校を卒業した者又は本学においてこれと同等以上の学力があると認められた者。
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又は本学においてこれと同等以上の学力があると認められた者。
- (3) 外国人留学生は、修学に必要な日本語の能力を有する者（日本語能力試験で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2以上（N2の112点以上））

3 出願上の注意

本学の科目等履修生制度は、学部学生が授業科目の登録を行い、なお余力がある場合に限り認められる制度である。したがって、登録人員に制限があり受講できない科目もある。また、受講人員が著しく少ない科目については、開講されない場合がある。

- (1) 提出書類に不備又は記載もれのある場合は、受理しない。
- (2) 入学志願票等の記載事項に虚偽の記入がある場合には、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- (3) いったん納入した入学考査料は返還しない。
- (4) 「博物館実習」については、原則として本学の卒業生または修了生に履修を限る。
また、令和8年度に行われた「博物館実習ガイダンス」に出席し、博物館実習申込書を提出していなければならない。
- (5) 「教育実習（長期）」、「教育実習（短期）」については、本学の卒業生および修了生で、教育実習の履修条件を備えた者に限る。ただし、出願する前に、教職課程の教員に相談すること。
- (6) 障がいや有する等の入学志願者については、修学上特別な配慮を必要とする場合があるので、出願の前に、あらかじめ本学に申し出ること。
- (7) 在留資格を有しない外国人は、出願できない。（保有している在留資格の有効期限が履修期間内に切れる場合を含む。）

また、本学の科目等履修生では、「留学」の在留資格は取得できない。ただし、沖縄県外国移住者子弟等留学生についてはこの限りでない。

4 出願期間

前期（令和9年4月入学）：令和9年1月22日（金）～2月5日（金）までの郵便局消印のあるもの。

後期（令和9年10月入学）：令和9年8月5日（木）～8月20日（金）までの郵便局消印のあるもの。

5 出願方法及び提出書類

本出願はオンライン出願で行う。大学ウェブサイトからオンライン出願ページに進み出願手続きを行うこと。

オンライン出願の際は、入学検査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

入学検査料について

(1) 9,800円

（オンライン出願ページの指示に従い、以下の期日までに納付すること。納入方法はクレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）が利用可能。ただし、別途手数料がかかる。）

納入期限 前期（令和9年4月入学）：令和9年2月5日（金）まで

後期（令和9年10月入学）：令和9年8月20日（金）まで

(2) いったん納入した入学検査料は原則返還しない。

オンライン出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要がある、その提出までが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日の郵送発信局消印があるものに限り受理する。

＊出願手続きについては「オンライン出願ページ」の注意事項を参照のこと。

オンライン出願ページ(<https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

＊封筒の表に『音楽学部科目等履修生入学願書在中』と記入すること。

■提出書類一覧

①	入学志願票	ア 入学検査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから科目等履修生入学志願票をカラー印刷し提出すること。 イ 外国人志願者の氏名について、「氏名（漢字）欄」は、旅券に記載の英字氏名で入力し、「氏名（カナ）欄」は、カタカナで入力すること。 ウ 住所は、本学からの通知等が確実に受け取れる郵便番号・住所を入力すること。入力時の住所でよい。 エ 「最終学歴欄」は、卒業（修了）年月日、学校名、所在地を入力すること。 オ 「学歴欄」は、高等学校入学以降の学校名、所在地名、修業年限、入学年月日、卒業（修了）年月日を年月日順に入力すること。 カ 入学志願票には上半身（肩から上）、無帽、正面向き、出願前3ヶ月以内に撮影した一般的な単色背景のカラーの顔写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。不鮮明、暗い、無背景でない、加工を施しているなど、本人確認が困難な写真は使用できない。写真は入学後の身分証にも使用する。
②	履修希望科目表	・本学所定様式に必要事項を日本語で記入すること。
③	卒業証明書又は卒業見込み証明書	・出身高等学校長又は最終出身学校長が証明したもの（原本）を提出すること。 ※日本語以外の証明書の場合は、日本語訳も提出すること。

		(出願者が訳し、署名したものでも可とする) ※本学の卒業者又は卒業見込者及び履修期間の更新手続き者は提出不要。
④	成績証明書	・出身高等学校長又は最終出身学校長が証明したもの（原本）を提出すること。 ※日本語以外の証明書の場合は、日本語訳も提出すること。 (出願者が訳し、署名したものでも可とする) ※本学の卒業者又は卒業見込者及び履修期間の更新手続き者は提出不要。 ※「博物館実習」を希望する者は、関連科目の履修状況がわかる証明書をすべて提出すること。
⑤	日本語能力を証明できる書類 (外国人のみ)	・外国人は、日本語能力試験（J L P T）で日本語教育の参照枠（C E F R レベル）の B 2 以上（N 2 の112点以上）に合格していると証明できる日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書（原本）を提出すること。 ※証明書は科目等履修生の出願締切前、2年以内のものとする。 ※履修期間の更新手続き者は提出不要。 ※日本国籍を有する二重国籍者は外国人として扱わないため、提出不要。
⑥	旅券の写し等 (外国人のみ)	・外国人は、旅券の写し及び在留カードの表裏両面の写しを提出すること。 ※履修期間の更新手続き者は提出不要。ただし、すでに提出した在留カードに記載の在留期限が更新希望の履修期間内に切れる場合は、更新後の在留カードの写しを提出すること。 ※日本国籍を有する二重国籍者は、日本の旅券の写しを提出すること。
⑦	住民票抄本等 (沖縄県内に住所を有する 該当者のみ)	・入学志願者本人又は配偶者、一親等親族が入学の日（前期4月1日、後期10月1日）の1年以前から引き続き沖縄県内に住所を有する者（以下「県内居住者」という。）は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本（原本）を提出すること。なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。また、配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、入学志願者本人との親族関係が確認できる戸籍謄本（原本）も提出すること。 ※履修期間の更新手続き者は提出不要。
⑧	所属長の承諾書 (該当者のみ) (任意の様式)	・出願時に職務を持つ者は、所属長の承諾書を提出すること。 ※履修期間の更新手続き者は提出不要。

6 提出先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
 沖縄県立芸術大学 教務学生課（音楽学部）
 電話（098）882-5080

7 履修科目

「履修科目一覧表」及び公開されているシラバスを参考にして、履修希望科目表に受講希望科目を記入すること。

ただし、カリキュラムの変更等に伴い、開設科目、開講学期またはシラバスの内容に変更が生じる場合もある。

シラバス掲載ページ (<https://unipa-web.okigei.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml>)

8 合格者の発表

提出書類等により合格者を決定し、本人あて通知する。（前期：3月中旬 後期：9月中旬）
電話等による可否の照会には応じない。

9 入学手続等

- (1) 手続期間 【前期】令和9年3月11日(木)～3月18日(木)午後5時まで
【後期】令和9年9月15日(水)～9月24日(金)午後5時まで

- (2) 入学料及び聴講料等の納入

入学料及び聴講料は、本学が通知する振込依頼書により国内金融機関にて納入すること。

聴講料は、授業登録後に本学が通知する額を納入する。

聴講期間が1学年の場合は、聴講料の納入期限を2回（前期・後期）に分ける。

在学中に聴講料が改定された場合は、改定後の聴講料が適用される。

納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。

- (ア) 入学料 県内居住者 28,200円、その他の者 51,200円

※県内居住者：入学志願者本人又は配偶者、一親等親族が入学の日（前期4月1日又は、後期10月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者

納入期間 【前期】令和9年3月11日(木)～3月18日(木)

【後期】令和9年9月15日(水)～9月24日(金)

- (イ) 聴講料 1単位 14,800円

納入期間 【前期】令和9年4月1日～4月30日

【後期】令和9年10月1日～10月31日

- (3) 履修登録期間 【前期】令和9年4月上旬 【前期集中講義科目】令和9年6月下旬
【後期】令和9年9月下旬 【後期集中講義科目】令和9年11月下旬

履修登録については、出願時に提出された履修希望科目表に基づき、受講が認められた科目を教務学生課において登録する。

- (4) 手続場所

沖縄県立芸術大学 教務学生課 TEL (098) 882-5080

10 留意事項

- (1) 前期および後期の所定の入学手続きを完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものとして取り扱う。
- (2) いったん納入した入学料、聴講料は原則返還しない。
- (3) 履修により取得した単位は、大学の卒業要件としての単位にはならない。
- (4) 実技及び実習等に要する経費は別に負担することもある。
- (5) 後期の科目についても、前期の出願期間に出願できる。
- (6) 1個学期に出願できる単位数は、原則として22単位までとする。

- (7) 入学時に職務を持つものは、所属長の承諾書を提出しなければならない。
- (8) 当該年度の開講の有無（隔年開講の科目もあるので注意を要する。）及び開講学期等については、当該年度の『開設授業科目表』を参照すること。
- (9) 時間割調整の結果、履修予定科目の開設時間が重複し、受講できないこともある。

11 その他

- (1) 入学後の授業等で使用するため、入学までにパソコン（またはタブレット等）及びインターネットに接続できる通信環境を整えておくことが望ましい。推奨される仕様については入学手続き以降に周知する。
- (2) 本学の科目等履修生が履修期間の更新及び新たな履修科目の追加を希望する場合は、事前に教務学生課まで問い合わせ、上記の出願期間内に以下の書類を提出すること。
 - ①科目等履修生入学志願票
 - ②履歴書
 - ③履修希望科目表

履修科目一覧表

科目提供専攻・コース	科目名	学期	備考
声楽コース	音声生理学	前期	隔年開講（奇数年度開講）
音楽文化専攻	楽劇理論 A, B	前・後	
	日本音楽史 A, B	前・後	
	西洋音楽史講義 A, B	前・後	
	音響学	後期	
	声楽史	後期	隔年開講（偶数年度開講）
	西洋音楽史特講	後期	隔年開講（偶数年度開講）
	鍵盤音楽史	前期	
	管弦楽史	後期	隔年開講（奇数年度開講）
	琉球音楽論 A, B	前・後	
	楽器論 A, B	前・後	
	琉球芸能論 A, B	前・後	
	琉球芸能史	後期	
	音楽美学概論	前期	隔年開講（偶数年度開講）
	舞台制作論 A, B	前・後	
	公共文化政策論	前期	
	音楽組織論	後期	
	東洋音楽史	後期	
琉球芸能専攻	琉球語 I ～ II	前・後	
	詞章研究 I ～ II	前・後	
全学教育センター	音楽科教育法 I	後期	
	音楽科教育法 II	通年	
	音楽科教育法 III	前期	
	教育原理	後期	
	教職論	前・後	
	教育行政	前期	
	教育心理学	前期	
	特別支援教育	前・後	
	教育課程	前期	
	道徳の理論及び指導法	前期	
	総合的な学習の時間の指導法	前・後	
	特別活動	後期	
	教育方法(情報通信技術の活用含む)	後期	
	生徒・進路指導論	後期	
	学校カウンセリング	前・後	
	教育実習（長期）	前期	
	教育実習（短期）	前期	
	教職実践演習（中・高）	後期	
	生涯学習概論	前期	
	博物館概論	前期	

科目提供専攻・コース	科目名	学期	備考
全学教育センター	博物館経営論	後期	
	博物館資料論	前期	
	博物館資料保存論	後期	
	博物館展示論	後期	
	博物館情報・メディア論	後期	
	博物館教育論	後期	
	博物館実習	通年	
	国語表現法	前・後	
	コンピュータ情報論	前・後	
	英語Ⅰ	前期	
	英語Ⅱ	後期	
	英語講読A	前期	
	英語講読B	後期	
	英文法	前期	
	英作文	後期	
	英語特演Ⅰ	前期	
	英語特演Ⅱ	後期	
	独語Ⅰ	前期	
	独語Ⅱ	後期	
	独語Ⅲ	前期	
	独語Ⅳ	後期	
	独語特演A	前期	
	独語特演B	後期	
	仏語Ⅰ	前期	
	仏語Ⅱ	後期	
	仏語Ⅲ	前期	
	仏語Ⅳ	後期	
	仏語特演A	前期	
	仏語特演B	後期	
	伊語Ⅰ	前期	
	伊語Ⅱ	後期	
	伊語Ⅲ	前期	
	伊語Ⅳ	後期	
	伊語特演A	前期	
	伊語特演B	後期	
	中国語Ⅰ	前期	
	中国語Ⅱ	後期	
	中国語Ⅲ	前期	
	中国語Ⅳ	後期	
	中国語特演A	前期	
	中国語特演B	後期	

科目提供専攻・コース	科目名	学期	備考
全学教育センター	日本語初級Ⅰ	前期	留学生のみ対象
	日本語初級Ⅱ	後期	留学生のみ対象
	日本語中級Ⅰ	前期	留学生のみ対象
	日本語中級Ⅱ	後期	留学生のみ対象
	日本語上級Ⅰ	前期	留学生のみ対象
	日本語上級Ⅱ	後期	留学生のみ対象
	日本語特演	後期	留学生のみ対象
	健康・運動理論	前・後	
	健康・運動実技A	前・後	
	健康・運動実技B	前・後	
	哲学A	前期	
	哲学B	後期	
	宗教学	後期	
	言語学A	前期	
	言語学B	後期	
	文学概論	後期	
	中国文学	後期	
	日本文学	後期	
	考古学	前期	
	歴史学A	後期	
	歴史学B	前期	
	日本国憲法	前・後	
	文化人類学	前期	
	心理学	前・後	
	数学	前期	
	化学	後期	
	生物多様性学	後期	
	基礎生物学	前期	
	生命科学	後期	
	自然科学概論	前・後	
	物理学	後期	
	美学	前期	
	現代芸術概論	前期	
	美術史	後期	
	音楽史	後期	
	演劇概論	後期	
	アートマネジメント概論	後期	
	キャリアデザイン基礎	後期	
	芸術と風土	前期	
	芸術と科学	後期	
	言語と文化	後期	

科目提供専攻・コース	科目名	学期	備考
全学教育センター	琉球文学	前期	
	琉球沖縄史 A	前期	
	琉球沖縄史 B	後期	
	民俗学	前期	
	自然環境論	前・後	
	沖縄学	前期	
	沖縄美術工芸史	後期	
	琉球芸能文化論	後期	
	琉球語基礎	前期	

※上記の聴講可能科目は変更する場合がある。

○授業科目の種別について

本学の授業科目には科目名の末尾に番号等が付されているものがある。それらは科目開設の趣旨や性格、また分類上、以下のようなルールで大別されている。

①ローマ数字(Ⅰ,Ⅱ等)の付されたもの(段階履修科目)

段階的に履修しなければならない科目である。すなわち、Ⅰの単位を未修得のままⅡを受講したり、同一学年にⅠおよびⅡを並行履修することはできない。

②A/Bの付されたもの

前期/後期ごとに授業内容が変わる科目である。科目の履修にあたっては、A,BまたはB,Aのようにどちらからでも履修登録することのできる科目である。

履修希望科目表

氏 名			
履修期間	年 月 日 ～ 年 月 日		
履修希望科目	科目番号	学 期	科 目 名
	勤 務 先	〒 TEL	
履修期間の更新	(自) 年 月 日 ～ (至) 年 月 日		
備 考			